

調達

サプライヤーとの相互研鑽

アイシングループは、サプライヤーの技能向上や企業体質の強化を目的に、主要なサプライヤーに対し人材育成支援を行っています。主要なサプライヤーの後継者を基本2年間、希望する部署に受け入れる「子弟留学制度」をはじめ、利用ニーズに合わせ従業員の出向受け入れを実施しています。この他、アイシングループのサプライヤーが相互の研鑽や優良事例の横展開を目的に編成する協力会の活動を側面から支援し、生産性・品質向上をめざす諸活動および、安全・環境活動などへの助言を行っています。2021年度には、労働災害の未然防止やサイバーセキュリティの強化に関する相互研鑽会や、サプライチェーン全体でのカーボンニュートラル達成に向けた勉強会を実施しました。

関連団体やイニシアチブへの参画

日本自動車部品工業会の総務委員会にはアイシンの取締役が所属し、この中にある調達・生産部会には、グループ調達本部の代表者が所属しています。アイシングループは同部会の活動を通じ、「自動車産業適正取引ガイドライン」をはじめとする適正取引推進のための業界指針の策定への参画に加え、紛争鉱物規制への対応に向けた情報収集や、サプライチェーンにおける責任ある鉱物調達への取り組みを進めています。

グループにおける調達体制

調達機能強化のため、国内外グループ・関係各社の調達機能を段階的に束ね、サプライヤーに対する窓口を一本化することで、双方向コミュニケーションを一層強化するとともに、両社の重複業務の廃止による効率化や、意思決定の迅速化を進めてきました。またDXを活用した調達業務改革に取り組み、グループ調達業務標準化ツールとして「PEGASUS」を導入しました。世界各地域にて調達組織の構えを統一することで、グローバルでの調達活動を加速させていきます。

電子調達部を新設し、半導体部品を中心とする長期安定的な需給逼迫への対応、および電子調達のサプライヤーとのコミュニケーション強化による戦略立案・推進を強化しました。

従業員教育・研修

アイシングループでは調達活動に従事する従業員一人ひとりが、公正で誠実な調達活動を推進できるよう、贈収賄の禁止をはじめ各種法令順守に向けた具体的な行動を「グループ調達行動憲章および行動指針」として示し、その実践に必要な心得、関連法規、機密管理等に関する教育を、調達機能全員を対象に実施しています。

調達体制図

